

# 南富良野高カヌー一部にOB阿部さん

## 全国の技術 第二の故郷に



南富良野高カヌー部のコーチに就任した阿部弘豊さん。今後は「町民の健康づくりのための教室も行いたい」と笑顔を見せる

【南富良野】町立南富良野高カヌー部のコーチに、同部出身で、全国大会入賞実績のある阿部弘豊さんのOBが就任した。滝川市出身の阿部さんにとって高校3年間を過ごした南富良野は第二の故郷。より充実したカヌー部の指導環境を目指す町教委から熱心な誘いを受け「お世話になったまち。恩返しをしたい」と決断した。

### インカレで上位入賞

4月から町教委職員として、カヌー部の指導に加え、スポーツ振興や町民の健康増進に取り組む。阿部さんは小学生の時に競技を始め、中学で全国大会に出場。練習ができる環境を求め、道内で珍しいカヌー部のある南富良野高に進学した。3年時には全国大会で8位入賞。進学した強豪の鹿屋体育大(鹿児島)では、4年時の全日本学生選手権大会(インカレ)で2位や3位となるなど実績を残した。

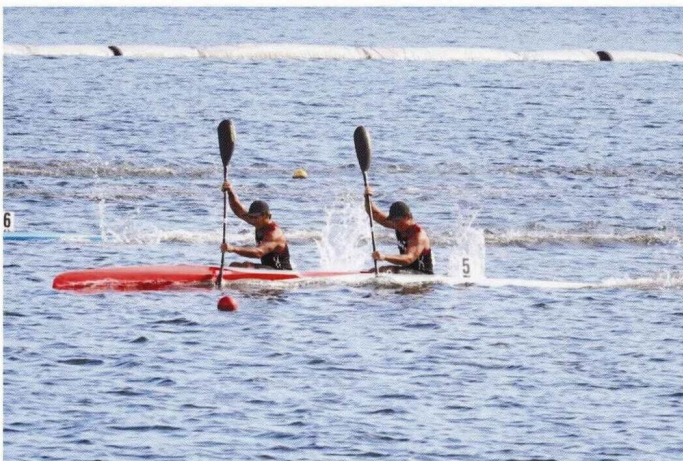
町教委によると、カヌー部は全国大会の常連だが、顧問となる教員は、転勤があり経験もさまざま。継続して専門性の高い指導が行えるコーチが必要との意見が上がっていた。鈴木誠教育長らが「卒業生で大学時代もカヌーをしていた人材」を条件に探す中、阿部さんに白羽の矢が立った。昨年、鈴木教育長と当時の同校事務局長が、4年生だった阿部さんが住む鹿児島を訪問。コーチの打診に加え、大学で培った知識や

### 町教委、鹿児島訪問「熱意が決め手」

技術を生かして町民の健康づくりに携わってほしいと伝えた。卒業後もカヌーに携わりたいと考えていた阿部さんだが「鹿児島まで来ていただいた熱意が一番の決め手」と振り返る。鈴木教育長は「デジタル化が進んでいるが、アナログな方法だからこそ思いが伝わると思った」と自ら足を運んだ理由を語る。

カヌー部の部員は1〜3

(千葉佳奈)



全日本学生選手権(インカレ)に出場した大学4年当時の阿部さん(左)＝本人提供